

調查票

道 民 意 識 調 査

—ご協力のお願い—

日頃より道政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

北海道では、道民の方々の意向や意識を的確に把握し、その内容を道政における企画・立案や施策形成に反映させることを目的として、毎年度、「道民意識調査」を実施しております。

調査対象者の選定にあたりましては、道内にお住まいの18歳以上の方1,500名を無作為に選ばせていただきました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年7月

北海道知事 高橋 はるみ

- **必ずご本人（封筒の宛名の方）がお答えください。**ただし、ご本人の記入が困難な場合は、ご本人の意見などを代理の方がご記入されてもかまいません。
- この調査票に記入された内容については、調査の目的以外に使用することはありません。
- この調査の回答は無記名でお願いしています。集計後の調査票は、責任をもって廃棄処分しますので、個人の秘密は守られ、ご迷惑がかかることはありません。
- 回答は、質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに近いものの**番号に〇印を付けてください。**
- 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、その場合は、矢印や説明に沿ってお答えください。
- 回答は、この調査票の郵送によるほか、**スマートフォンからでも回答いただけます。**スマートフォンによる回答をご希望される方は、次のQRコードを読み込んでアクセスしてご回答ください。
※スマートフォンで回答された方は郵送による回答は不要です。
- これまでに実施した調査の結果は、北海道のホームページでご覧いただけます。
※インターネット検索で、「道民意識調査」とご検索ください。

QRコード



この調査票に、全ての回答を記載し

同封の返信用封筒（切手不要）に入れ

8月30日（木）までに郵便ポストに投函願います。

※ インターネットによる回答の方も**8月30日（木）**までにご回答願います。

※ 返信用封筒のあて先は、北海道が調査を委託した**（株）ピーアールセンター**となっています。

《 問い合わせ先 》 北海道 総合政策部 知事室 広報広聴課 調整グループ
住所 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
電話 011-231-4111（内線21-361）

調査票番号

その先の、道へ。北海道
Hokkaido, Expanding Horizons.

1 安心して暮らし続けることのできる地域づくりについて

本道は、全国を上回るスピードで人口減少が進んでおり、地域の暮らしや経済など幅広い分野への影響が懸念されています。

今後の人口減少問題対策の参考にするため、現在お住まいの地域における生活全般などについて、皆さんにおたずねします。

問1 あなたは、現在住んでいる市町村にこれからも住みたいと思いますか。

次の中から**1つだけ**お選びください。(○は**1つ**)

- 1 できれば今と同じ市町村に住んでいたい
- 2 できれば道内の他の市町村へ移りたい
- 3 できれば北海道以外の所へ移りたい
- 4 よくわからない

問2 あなたは、食料品などの日々の買い物に満足を感じていますか。

次の中から**1つだけ**お選びください。(○は**1つ**)

- 1 満足している
- 2 やや満足している
- 3 やや不便を感じている
- 4 不便を感じている
- 5 どちらともいえない

※問3～問5については、結婚されている方のみお答えください。**問3** あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

- | | | | |
|---|----------|---|----------------|
| 1 | 子どもはいらない | 4 | 3人 |
| 2 | 1人 | 5 | 4人 |
| 3 | 2人 | 6 | 5人以上 (人) |

問4 あなたは、何人のお子さんを持つおつもりですか。次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

- | | | | |
|---|----------|---|----------------|
| 1 | 子どもは持たない | 4 | 3人 |
| 2 | 1人 | 5 | 4人 |
| 3 | 2人 | 6 | 5人以上 (人) |

問5 問4で選んだ「実際に持つつもりの子どもの数」が、問3で選んだ「理想とする子どもの数」に比べて少ない方に伺います。その理由は何ですか。次の中から、いくつでもお選びください。(○は複数可)また、その中で最も重要な理由を1つだけ選び◎を付けてください。(◎は1つ)

- | | |
|----|----------------------------|
| 1 | 子育てや教育にお金がかかりすぎるから |
| 2 | 家が狭いから |
| 3 | 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから |
| 4 | 子どもがのびのび育つ環境ではないから |
| 5 | 自分や夫婦の生活を大事にしたいから |
| 6 | 高年齢で生むのはいやだから |
| 7 | これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから |
| 8 | 健康上の理由から |
| 9 | ほしいけれどもできないから |
| 10 | 夫または妻の家事・育児への協力が得られないから |
| 11 | 夫または妻が望まないから |
| 12 | 末子が夫の定年退職までに成人してほしいから |
| 13 | その他 (具体的に:) |

2 少子化に対する意識について

道では「北海道子どもの未来づくりのための少子化対策推進条例」に基づき、「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」を策定し少子化対策を進めていますが、今後の取組の検討や計画の見直しの参考にするため、皆さんにおたずねします。

問6 あなたは、少子化が進むことや「少子社会」について、どのように思いますか。次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

- 1 非常に問題である
- 2 多少問題である
- 3 特に心配する必要はない
- 4 むしろ望ましい
- 5 わからない

問7 仕事と子育てを両立するために、どのようなことが課題（今後課題となることでも可）に
なると思いますか。あなたのお考えに近いものを次の中から3つまでお選びください。

(○は3つ以内)

- 1 育児休業など職場の支援体制が不十分
- 2 育児休業等がとりにくい職場環境
- 3 就業時間上の配慮が不十分
- 4 保育所や保育サービスが不十分
- 5 病気の子どもを預かってくれる保育施設が少ない
- 6 小学校入学後の放課後児童対策が充実していない
- 7 職場への復帰や再就職が困難
- 8 雇用や労働条件に関する男女差別
- 9 仕事と子育ての両立について配偶者や家族の理解や援助の不足
- 10 特になし
- 11 その他（具体的に： _____)

問8 あなたがお住まいの地域は、「安心して子どもを育てられる環境」だと思いますか。次の
中から1つだけお選びください。(○は1つ)

- 1 とてもそう思う
- 2 そう思う
- 3 あまり思わない
- 4 全く思わない
- 5 わからない

問9 あなたがお住まいの地域は、例えば登下校時の安全を見守ってくれたり、日々のあいさつによる声かけといった行動を通じて、子どものことを気にかけてくれる人が多いと思いますか。次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

- 1 とてもそう思う
- 2 そう思う
- 3 あまり思わない
- 4 全く思わない
- 5 わからない

問10 (現在子育て中、あるいは子育て経験のある方のみお答えください)

あなたが、子育てで不安に思っていること(思ったこと)は何ですか。次の中から3つまでお選びください。(○は3つ以内)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 子どもの発達 | 8 周囲の目や言葉 |
| 2 子どもの健康 | 9 親同士のつきあい |
| 3 子どもとの接し方 | 10 子ども同士のつきあい |
| 4 家族の子育てに関する考え方 | 11 子育てと仕事の両立 |
| 5 配偶者の協力 | 12 再就職 |
| 6 子育てと自分の時間との両立 | 13 あなたの生き方との関わり |
| 7 自分の健康や体力 | 14 子育てにかかる費用 |
| | 15 その他(下記に記入) |

具体的に：

3 北方領土問題について

この調査は、北方領土問題に関する現状の認知度や関心、普及啓発活動へのニーズを把握し、特に次世代を担う若年層の意識向上につながる効果的な啓発活動を検討する基礎資料とするため、皆さんにおたずねします。

問 11 北方領土問題の認知度

日本とロシアの間に北方領土をめぐる問題がありますが、あなたは、北方領土についてどの程度知っていますか。次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

- 1 北方領土をめぐる問題について、よくわかっている
- 2 北方領土をめぐる問題について、大まかな内容がわかっている
- 3 北方領土の四つの島の名前がわかる程度
- 4 北方領土という言葉を開いたことがある程度
- 5 よくわからない

問 12 北方領土問題を何で知ったか

※「問 11」で選択肢 1～4 を選んだ方のみお答えください。

北方領土問題を何から知りましたか。次の中からいくつでもお選びください。

(○は複数可)

- 1 テレビ・ラジオ
- 2 新聞
- 3 本や雑誌などの出版物
- 4 ホームページなどインターネット
- 5 フェイスブックやツイッターなどのソーシャルネットワーキングサービス (SNS)
- 6 携帯電話・スマートフォン
- 7 学校の授業
- 8 家族・知人
- 9 広報・啓発イベント
- 10 広報・啓発刊行物 (パンフレットやリーフレットなど) やポスター
- 11 北方領土返還要求運動シンボルの花「千島桜」
- 12 北方領土イメージキャラクター「エリカちゃん」の活動
- 13 映画「ジョパンニの島」
- 14 空港、街角などに設置されているモニターやビジョン
- 15 その他 (具体的に:)
- 16 よくわからない

問 13 北方領土問題の関心度

※「問 11」で選択肢 1～4 を選んだ方のみお答えください。

あなたは、北方領土をめぐる問題について、どの程度関心がありますか。次の中から 1つ だけお選びください。(○は1つ)

- 1 とても関心がある
- 2 少し関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 全く関心がない

問 14 北方領土返還に向けた啓発活動の認知度

あなたは、道や各団体が実施している啓発活動について、どのような内容を知っていますか。次の中からいくつでもお選びください。(○は複数可)

- 1 返還署名運動
- 2 北方領土フェスティバルなどのイベント
- 3 北方領土パネル展
- 4 ホームページやメールマガジン
- 5 フェイスブックやツイッターなどのソーシャルネットワーキングサービス (SNS)
- 6 元島民の話を聞く会
- 7 ポスターの掲示やリーフレット等の配布
- 8 啓発活動について特に知らない
- 9 その他 (具体的に:)

問 15 若い世代に向けた啓発活動

運動の中心である北方四島の元島民等も高齢化が進む現状において、今後、若い世代の関心を高めるためには、あなたは、どのような取組が重要だと思いますか。次の中から 2つ までお選びください。(○は2つ以内)

- 1 学校における北方領土教育の充実
- 2 講演会など北方領土について学ぶ機会の充実
- 3 イベントや署名など直接参加できる機会の充実
- 4 ホームページやメールマガジンなど電子媒体での情報提供の充実
- 5 フェイスブックやツイッターなどのソーシャルネットワーキングサービス (SNS) を用いた広報・啓発の充実
- 6 元島民の話を聞く機会の拡充
- 7 北方領土隣接地域である根室管内での現地見学・体験の充実
- 8 その他 (具体的に:)
- 9 よくわからない

問 16 北方領土返還に向けた啓発活動への参加意欲

あなたが道や各団体が行っている啓発活動に自発的に参加するとした場合、どのような活動に参加を希望しますか。次の中から2つまでお選びください。(○は2つ以内)

- 1 講演会など北方領土について学べる機会
- 2 直接意志を表明できる署名
- 3 北方領土関係のイベント
- 4 元島民の話聞く会
- 5 北方領土隣接地域である根室管内の現地見学・体験
- 6 特に参加したいとは思わない
- 7 その他

具体的に：

4 文化に関する道民意識について

道では、「道民一人ひとりが心の豊かさを実感できる地域社会づくり」を目指し、様々な文化振興の取組を行っています。今後の取組の参考とするため、皆さんにおたずねします。

問 17 文化芸術に関する活動状況についてお聞きします。

あなたは、この1年間に、次の中にあるような文化芸術に関わる活動をしたことはありますか。次の中から、いくつでもお選びください。(○は複数可)

- 1 音楽、舞踊、茶道、華道、書道などの習い事の受講
- 2 地域の芸能や祭りへの参加
- 3 文学（小説や俳句など）、音楽、美術（絵画や陶芸など）、演劇、舞踊等の作品の創作
- 4 音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画等への出演
- 5 子どもの文化芸術体験のための支援活動
- 6 美術館・博物館などにおける案内や作品解説などの支援活動
- 7 音楽祭・映画祭などの開催のための支援活動
- 8 歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動
- 9 特に行ったことはない（したいことはない）
- 10 わからない
- 11 その他（具体的に： _____）

問 18 道内の文化振興の状況についてお聞きします。

現在の道内の文化振興の状況について、あてはまると思うものを次の中から、いくつでもお選びください。(○は複数可)

- 1 世界遺産登録を目指す縄文遺跡群に関する情報発信がなされている
- 2 まんが・アニメといったメディア芸術の活動が盛んである
- 3 地域における自主的な文化活動が盛んである
- 4 音楽・演劇・絵画など、優れた文化芸術に親しむことができる
- 5 子どもたちが身近に文化芸術に触れることができる
- 6 文化芸術に関する必要な情報を手に入れることができる
- 7 地域の文化資源が地域振興に活かされている
- 8 文化を通じて、国内外との交流が行われている
- 9 特にない
- 10 わからない

問 19 地域の文化的環境についてお聞きします。

あなたは、文化芸術の鑑賞や、文化芸術に関する活動・習い事の機会、文化資源の保存・活用といった、お住まいの地域での文化的な環境に満足していますか。

次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

- 1 満足している
- 2 どちらかといえば満足している
- 3 どちらかといえば満足していない
- 4 満足していない
- 5 わからない

問 20 地域の文化的な環境を充実させるために、何が重要だと思いますか。

次の中からいくつでもお選びください。(○は複数可)

- 1 ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実
- 2 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実
- 3 地域の芸能や祭りなどの継承・保存
- 4 文化資源を活かしたまちづくりの推進
- 5 文化活動を行う人たちに対する支援
- 6 地域の文化活動やイベント、文化資源に関する情報提供の充実
- 7 子どもが文化芸術に親しむ機会の充実
- 8 特にない
- 9 わからない
- 10 その他 (具体的に：)

5 男女平等参画を阻害するあらゆる暴力の根絶について

女性に対する暴力は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であり、暴力の根絶を図ることは、男女平等参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。

男女平等参画を阻害する配偶者等からの暴力（DV）の根絶に対する取組を一層充実するため、皆さんにおたずねします。

問 21 あなたは、次の言葉について知っていますか。あてはまる番号をそれぞれ1つだけお選びください。[DV（ドメスティック・バイオレンス）、デートDV]（○はそれぞれ1つ）

DV	1 言葉としても、その内容も知っている 2 言葉としては知っているが、内容は知らない 3 言葉としても、その内容も知らない
デートDV	1 言葉としても、その内容も知っている 2 言葉としては知っているが、内容は知らない 3 言葉としても、その内容も知らない

問 22 あなたは、次のようなことが夫婦の間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。

A～Oのそれぞれについて、「1」～「3」のうち、あなたの考えに近い番号を1つだけお選びください。（○はそれぞれ1つ）

なお、ここでの「夫婦」とは、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦も含みます。

- | |
|---------------------------|
| 1 どんな場合でも暴力にあたると思う |
| 2 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う |
| 3 暴力にあたるとは思わない |

	回答番号		
A 平手で打つ	1	2	3
B 足でける	1	2	3
C 身体を傷つける可能性のある物でなぐる	1	2	3
D なぐるふりをして、脅す	1	2	3
E 刃物などを突きつけて、脅す	1	2	3
F 大声でどなる	1	2	3
G 他の異性との会話を許さない	1	2	3
H 家族や友達との関わりを持たせない	1	2	3
I 交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	1	2	3
J 職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する	1	2	3
K 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
L 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性なし」と言う	1	2	3

M 家計に必要な生活費を渡さない	1	2	3
N 嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
O 避妊に協力しない	1	2	3

問 23 あなたは、配偶者等からの暴力について相談できる窓口があることを知っていますか。
あてはまる番号を1つだけお選びください。(○は1つ)

※窓口とは、配偶者暴力相談支援センター（道立女性相談援助センター等）や警察相談センター、市の婦人相談員、法務局・地方法務局、民間シェルターなどを言います。

1 知っている	2 知らなかった
---------	----------

※問 24～問 25 については、配偶者がいる方、いた方のみお答えください。

ここでの「配偶者」とは、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者（離別・死別した相手、事実婚を解消した相手）も含まれます。

問 24 あなたはこれまでに、配偶者から次のA～Dのようなことをされたことがありますか。
A～Dのそれぞれについて、「①これまで」のあてはまる番号を1つだけお選びください。
また、「①これまで」で、「1、2度あった」、「何度もあった」と回答した方は、
「②この1年間」についてもお答えください。(○はそれぞれ1つ)

- | |
|-----------|
| 1 まったくない |
| 2 1、2度あった |
| 3 何度もあった |

	① これまで	② この1年間
A 身体的暴行（例えば、殴ったり、蹴ったり、物を投げつけた り、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行）	1 2 3	1 2 3
B 心理的攻撃（例えば、人格を否定するような暴言、交友関係 や行き先・電話・メールを細かく監視したり、長時間無視する などの精神的な嫌がらせ、あるいは自分もしくは自分の家族に 危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫）	1 2 3	1 2 3
C 経済的圧迫（例えば、生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に に使われる、外で働くことを妨害されるなど）	1 2 3	1 2 3
D 性的強要（例えば、嫌がっているのに性的な行為を強要され る、見たくないポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しない など）	1 2 3	1 2 3

問24で、「①これまで」のA～Dのうち1つでも「1、2度あった」、「何度もあった」と答えた方のみ、問25にお答えください。

問 25 あなたはこれまでに、配偶者から受けたそのような行為について、誰かに打ち明けたり、相談したことがありますか。

あてはまる番号をいくつでもお選びください。(○は複数可)

- 1 配偶者暴力相談支援センター（道立女性援助センター等）に相談した
- 2 警察または警察相談センターに相談した
- 3 法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談した
- 4 上記以外の道の機関に相談した
- 5 市町村又は市の婦人相談員に相談した
- 6 民間シェルターに相談した
- 7 弁護士、弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関に相談した
- 8 医療関係者（医師、看護婦など）に相談した
- 9 学校関係者（教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど）に相談した
- 10 職場・アルバイトの関係者（上司、同僚など）に相談した
- 12 家族や親戚に相談した
- 13 友人・知人に相談した
- 14 その他（具体的に： _____)
- 15 どこ（だれ）にも相談しなかった

6 SNS利用を発端とした犯罪被害について

SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の普及、発展により未成年者、女性等が被害となる犯罪が増加することが予想されることから、SNS利用に伴う犯罪被害に関し、道民の問題意識や、体感治安等の現状を明らかにし、犯罪の未然防止策、早期検挙方策を検討する一助とするため、皆さんにおたずねします。

問26 あなたが現在利用しているSNSをいくつでもお選びください。（○は複数可）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 利用していない | 8 GREE（グリー） |
| 2 LINE（ライン） | 9 Mobage（モバゲー） |
| 3 Facebook（フェイスブック） | 10 YouTube（ユーチューブ） |
| 4 Twitter（ツイッター） | 11 ニコニコ動画 |
| 5 Instagram（インスタグラム） | 12 Vine（ヴァイン） |
| 6 mixi（ミクシィ） | 13 その他（具体的に： _____） |
| 7 Google+（グーグルプラス） | |

問27 これまでに、SNSを発端とした犯罪被害や、危険な前兆、トラブルに遭った、または近いようになったことがありますか（ご自身または身近な方のことでも構いません）。

次の中からいくつでもお選びください。（○は複数可）

- | | |
|--|--|
| 1 ない | |
| 2 犯罪被害（凶悪事件（殺人、強盗、誘拐など）） | |
| 3 犯罪被害（性犯罪） | |
| 4 犯罪被害（2、3以外） | |
| 5 危険な前兆、トラブル（ネット等での脅迫、名誉毀損、面会要求、金銭要求、画像要求など） | |
| 6 危険な前兆、トラブル（個人情報流出、画像流用、流出、誹謗中傷） | |
| 7 その他（具体的に： _____） | |

問28 SNSに個人情報を掲載するうえで、公開しても支障がないと考える項目を、次の中からいくつでもお選びください。（○は複数可）

- | | |
|-----------|---------------------|
| 1 ハンドルネーム | 6 住所 |
| 2 氏名 | 7 職業（学業） |
| 3 年代 | 8 職場名（学校名） |
| 4 年齢 | 9 個人情報を掲載することは危険 |
| 5 居住地区 | 10 個人情報を掲載しても危険性はない |

問 29 未成年者や女性の SNS の利用について、危険が潜在していると思いますか。
次の中から 1 つ だけお選びください。(○は 1 つ)

- 1 思う
- 2 やや思う
- 3 どちらともいえない
- 4 やや思わない
- 5 思わない

問 30 問 29 で選択肢「1」または「2」を選んだ方のみお答えください。
なぜ、危険性が潜在していると思いますか。次の中から いくつ でもお選びください。
(○は 複数可)

- 1 SNS 利用関連で犯罪被害、危険な前兆、トラブルに遭ったことがあるため
- 2 新聞やニュースなどで見聞きしたことがあるため
- 3 友人、知人などから見聞きしたことがあるため
- 4 学校や職場などから危険性に関する情報を見聞きしたことがあるため
- 5 その他（具体的に： _____)

問 31 SNS を利用した犯罪捜査に関して、警察にどのような活動を期待しますか。
次の中から 1 つ だけお選びください。(○は 1 つ)

- 1 サイバーパトロールによる取締り強化（前兆事案の取締り）
- 2 新しい捜査手法を可能にする法制度確立
- 3 事件に発展した際の早期検挙、対応
- 4 SNS への流出情報やトラブル内容の削除
- 5 インターネット・ホットラインセンターとの連携強化
- 6 教育・啓発・相談の強化
- 7 その他（具体的に： _____)

7 持続可能な開発目標 (SDGs) について

2015年9月の国連サミットにおいて、2030年を期限とする先進国と開発途上国が共に取り組むべき国際社会全体の目標として、持続可能な開発目標 (SDGs (エスディーゼーズ) : Sustainable Development Goals) が採択されました。

SDGsは、以下の17のゴール(目標)と、その下に更に細分化された169のターゲットで構成されており、その達成には全ての関係者(企業、団体・NPO、地方自治体、消費者、教育・研究機関等)の役割が重視され、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境という3つの側面のバランスをとりながら取り組むことが求められています。

今後、北海道においてSDGsの達成に向けた取組を推進していく上での参考にするため、皆さんにおたずねします。



SDGs のロゴマーク

<SDGsの17のゴール(目標)>

1 貧困をなくそう	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
2 飢餓をゼロに	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
3 すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
4 質の高い教育をみんなに	すべての人々に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
5 ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う
6 安全な水とトイレを世界中に	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
8 働きがいも経済成長も	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
10 人や国の不平等をなくそう	各国内及び各国間の不平等を是正する
11 住み続けられるまちづくりを	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
12 つくる責任つかう責任	持続可能な生産消費形態を確保する
13 気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
14 海の豊かさを守ろう	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
15 陸の豊かさを守ろう	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
16 平和と公正をすべての人に	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
17 パートナリシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

問 32 あなたは、SDGsについて知っていましたか。
次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

- 1 よく知っていた
- 2 少し知っていた
- 3 聞いたことがある程度だった
- 4 知らなかった

問 33 問 32で「よく知っていた」、「少し知っていた」、「聞いたことがある程度だった」と回答された方に伺います。SDGsを知った(聞いた)きっかけは何ですか。
次の中からいくつでもお選びください。(○は複数可)

- 1 マスメディア(新聞、テレビ、雑誌等)
- 2 インターネット
- 3 イベント・セミナー等
- 4 お勤め先や学校
- 5 友人・知人から聞いた
- 6 その他(具体的に:)

問 34 SDGsの達成には、全ての関係者の役割が重視されていますが、あなたは、主に誰が行動すべきだと思いますか。次の中からいくつでもお選びください。(○は複数可)

- 1 政府・地方自治体(都道府県や市町村)
- 2 個人
- 3 民間企業
- 4 団体・NPO
- 5 教育・研究機関
- 6 その他(具体的に:)

問 35 SDGsのうち、北海道内において特に取り組むべきと思うものは何ですか。次の表の中からいくつでもお選びください。(○は複数可)

この欄に○を記載してください。

<SDGsの17のゴール(目標)>

1	貧困をなくそう	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
2	飢餓をゼロに	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
3	すべての人々に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
4	質の高い教育をみんなに	すべての人々に包摂的 ^{※1} かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
5	ジェンダー ^{※2} 平等を実現しよう	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う
6	安全な水とトイレを世界中に	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
7	エネルギーをみんな ^{※3} そしてクリーンに	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
8	働きがいも経済成長も	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	強靱(レジリエント)なインフラ ^{※3} 構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーション ^{※4} の推進を図る
10	人や国の不平等をなくそう	各国内及び各国間の不平等を是正する
11	住み続けられるまちづくりを	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
12	つくる責任つかう責任	持続可能な生産消費形態を確保する
13	気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
14	海の豊かさを守ろう	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
15	陸の豊かさも守ろう	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
16	平和と公正をすべての人に	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
17	パートナーシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップ ^{※5} を活性化する

※1 本調査においては、「包摂的」は「あらゆる人を含める」又は「誰も排除しない」という意味で解釈します。

※2 社会的な男女の性区別

※3 産業や社会生活の基盤

※4 技術革新

※5 世界規模の協力関係

問 36 SDGsの17のゴール(目標)の達成に向け、あなた自身が何らかの取組を行いたいと思いますか。次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

- 1 既に取り組んでいる
- 2 取り組みたいと思う(まだ取り組めていない)
- 3 取り組みたいと思うが、何に取り組めばよいかわからない
- 4 取り組みたいと思わない
- 5 その他(具体的に:)

※「1 既に取り組んでいる」又は「2 取り組みたいと思う(まだ取り組めていない)」と回答された方は、SDGsのゴール(目標)のうち、実際に取り組んでいる(取り組みたいと思っている)ことに関連するゴールを次の表の中からいくつでもお選びください。(○は複数可)

この欄に○を記載してください。

1 貧困をなくそう	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
2 飢餓をゼロに	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
3 すべての人々に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
4 質の高い教育をみんなに	すべての人々に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
5 ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う
6 安全な水とトイレを世界中に	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
8 働きがいも経済成長も	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
10 人や国の不平等をなくそう	各国内及び各国間の不平等を是正する
11 住み続けられるまちづくりを	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
12 つくる責任つかう責任	持続可能な生産消費形態を確保する
13 気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
14 海の豊かさを守ろう	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
15 陸の豊かさを守ろう	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
16 平和と公正をすべての人に	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
17 パートナリーシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

最後に、あなたご自身のことについてお聞きします。

おたずねした結果を統計的に分析するため、あなたご自身のことについて、教えてください。
質問項目は個人の情報を特定する内容ではありませんので、ご協力願います。

I あなたの性別をお答えください。

- 1 男性 2 女性

II あなたは現在、おいくつですか。

- 1 18～29 歳 3 40～49 歳 5 60～69 歳
2 30～39 歳 4 50～59 歳 6 70 歳以上

III あなたの主な職種は何ですか。

次の中から**1つ**だけ選んでください。(○は**1つ**)

- 1 自営業 (農林漁業及びその家族従事者)
2 自営業 (商工サービス業及びその家族従事者)
3 自由業 (専門的な知識や才能に基づく職業への従事者で、雇用関係から独立した職業分野(開業医、弁護士、芸術家など))
4 事務職系 (一般事務、教員、看護師、技術者など)
5 労務職系 (技能員、販売員、セールス外交員など)
6 主婦
7 学生
8 無職
9 その他 (具体的に:)

IV あなたのお住まいの市町村はどの地域になりますか。

次の中から**1つ**だけ選んでください。(○は**1つ**)

- 1 道央広域連携地域 (石狩振興局、空知総合振興局、後志総合振興局、胆振総合振興局、日高振興局)
2 道南連携地域 (渡島総合振興局、檜山振興局)
3 道北連携地域 (上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局)
4 オホーツク連携地域 (オホーツク総合振興局)
5 十勝連携地域 (十勝総合振興局)
6 釧路・根室連携地域 (釧路総合振興局、根室振興局)

V あなたは、今の市町村に住むようになって何年になりますか。

次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|------------|---------|
| 1 1年未満 | 3 5～10年未満 | 5 20年以上 |
| 2 1～5年未満 | 4 10～20年未満 | |

VI あなたのお住まいの地域は、次のどれにあたりますか。

次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)

- | |
|--------------|
| 1 札幌市 |
| 2 人口10万人以上の市 |
| 3 人口10万人未満の市 |
| 4 町村 |

VII この調査に対するご感想、道政に対するご意見などございましたら、ご自由にお書きください。

今後の参考にさせていただきます。(自由記載)

その先の、道へ。北海道
Hokkaido, Expanding Horizons.

↑この線で三つ折りして
返信用封筒に入れてください

↑この線で三つ折りして
返信用封筒に入れてください

【ご協力ありがとうございました】

三つ折りにし、同封の返信用封筒に入れて

8月30日（木）までに

郵便ポストに投函してください。（切手不要）

※スマートフォンで回答された方は郵送による回答は不要です